

器 25 医療用鏡
一般医療機器 内視鏡用部品アダプタ (37090010)

S-Valve ディスポーザブル吸引ボタン

再使用禁止

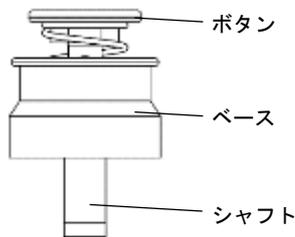
【禁忌・禁止】

1. 再使用禁止

【形状・構造及び原理等】

1. 形状・構造
2. 内視鏡の吸引チャンネルの開閉を本品のボタン操作で行い体液等の吸引を行う。

吸引ボタン：



<主な原材料>

アクリロニトリルブタジレンスチレン
ステンレススチール

【使用目的又は効果】

本品は内視鏡に取付けて吸引を行うためのボタンである。

【使用方法等】

1. 吸引ボタンを取出し、内視鏡の吸引シリンダに取付ける。取付けは本品ベース部を把持し、シャフト孔が内視鏡のハンドル部と並行になるように位置を合わせて取付ける。(本品を、シャフトを軸に回転させる事で取付け方向がわかります。)
注意 むりやり取付けると内視鏡や本品が破損する場合があります。
2. 本品が確実に取り付けられていることを確認する。
3. ボタン操作を行い、吸引が正しく機能することを確認する。
4. ボタンを押して、手技や視野確保の妨げになっている余分な体液や汚物を吸引する。
5. 吸引後、内視鏡のリプロセス前に吸引ボタンを取り外して廃棄する。

【使用上の注意】

1. **重要な基本的注意**
 - 1) 固形物や粘度の高いものを吸引しないこと。吸引チャンネルや吸引ボタンが詰まることもある。吸引ボタンが詰まって吸引が止まらなくなった場合、内視鏡の吸引コネクタから吸引チューブを外し、吸引ポンプをオフしてから吸引ボタンを取り外し、固形物などを除去すること。

- 2). 吸引するときは必要最低限の吸引圧を維持すること。吸引圧が高すぎると粘膜を損傷する恐れがある。また、患者体液の漏れや、鉗子栓からの飛散により感染を起こす恐れがある。
- 3). 吸引するときは鉗子栓のフタを閉めること。鉗子栓のフタを閉めずに使用すると吸引機能に低下がおこる恐れがある。また、空気や患者体液の漏れ、汚物の飛散により感染をおこす恐れがある。

【保管方法及び有効期間等】

1. **保管方法**

高温、多湿、直射日光、水濡れを避けて清潔な状態で保管すること。
2. **使用期間**

使用期間は外箱に記載。

【製造販売業者及び販売業者の氏名又は名称等】

<製造販売業者>

吉川化成株式会社

<販売業者>

ポストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社

電話番号 03-6853-1000